

全校集会 「校長より」 （平成23年3月18日）

本当に大変なことが起こってしまいました。ちょうど一週間前の金曜日です。先週の今頃はこんなことが起きるなどと誰も考えていませんでした。しかし、巨大地震と大津波が発生し、一瞬の内に平穏な暮らしが、跡形もなく奪い去られていきました。



連日テレビ等から報道される津波の様子や被災地の状況、そしてそこで現在避難している人々の様子を見るたびに胸が締め付けられる思いです。また、福島原子力発電所では今も必死の復旧作業が命がけで繰り返されています。

私は自然の力が私たち人間の想像を超えるものであることを改めて実感しました。私たち人間が営々と積み重ねて築き上げてきたもの町や建物、そしてそれらにこめられた歴史や思い出、そしてなによりもいまだに正確な数がわからないほど多くの命が一瞬にして波にのまれ破壊され持ち去られて行きました。自然の大きさと、その中で生きている人間という存在の小ささ、命のはかなさを目の当たりにしました。

自分たちは小さな存在だから、そしてはかなく弱い存在だからこそ、お互いがしっかりと手を繋ぎ合って、助けあっていかなければならないと思います。しかし一方で現実の世界では、思想の違いや宗教の違い、言葉や肌の色、生まれや育った環境の違いでいがみ合ったり、経済的な利害関係の中で攻撃したり、傷つけあったり、時には殺しあったりしています。なんと愚かなことでしょうか。私たちは今一度、自分たちの存在の小ささを自覚し、そんな小さな自分たちはどう生きるべきか、できることは何か、そして私たちがすべきことは何かをしっかりと考えていかなければなりません。

また、人間は弱い存在だと言いましたが、それは肉体的なこと体力的なことです。逆に人間の心はなんと強いものだろうとも思いました。被災地の人たちは冷静に、秩序を保ちつつ苦しい避難生活を続けておられます。被災地で手を取り合って懸命に耐えている人々の強さには驚くばかりです。このことはアメリカやヨーロッパ、そして中国といった世界中の国々がこの日本の被災地における秩序ある状態にとっても驚き感心し、賞賛を寄せています。また、これは日本が「敬意と品格に基づく文化だからだ」と分析もしています。確かにそうだと思います。

こうした状況において自分だけのことを考えていては秩序は維持できません。お互いがお互いのことを考え合いやっているからこそ、こうした秩序ある状態が維持できています。ここにこの日本にくらす人々の素晴らしさと強さをみた思いがします。ならば、自分自身も被災地からは離れていますが、ともに手をつなぎ、苦しさや不便さも共有しながら、この困難を乗り越え、復興のためにできる限りのことはしなければならぬと思います。今宮高校の生徒の皆さんも、是非自分が何ができるかを真剣に考え、できることがあれば一步を踏み出してほしいと思います。

さて、今日は今年度の締めくくりの終業式です。そこで先日 3 月 9 日に行われた 13 期生の卒業証書授与式で、(今日の終業式に参加している人の中にも参列した人もたくさんいると思いますが、)先輩たちが皆さんに大切なものを皆さんに受け継いでいってくれた答辞の中から皆さんへのメッセージを紹介したいと思います。とても素敵で感動的な内容です。

「私の好きな言葉を贈るので聞いて下さい。『過去と他人は変えられない。自分と未来は変えられる』です。みなさんは「毎日が楽しくない」ということを過去や周りの人たちのせいにしていませんか？実は私は一年生の頃、学校が楽しくなくて、何でもかんでも人任せにしては文句ばかり言って、無責任な生徒でした。でも楽しくするのは自分自身だ」と気付かせてくれたのが今宮高校でした。もし、毎日の生活や学校を楽しくないと思ったなら、まず自分で行動し、自分を変えてみてください。自分が変われば未来も自ずと変わっていくと思います。

また、決められたルールの中で、いかに楽しく華やかにやるかということも教えてくれたのも今宮高校でした。自分たちの手で学校行事を運営するという貴重な体験は他校ではできないと思います。こんな素晴らしいスタイルを持つ今宮高校の卒業生になれることを私たちは誇りに思います。在高背の皆さんにも、この今宮スタイルを受け継いでほしいと願います。

そしてそれを成し遂げるにはたくさんの努力も必要ですが、何よりも最高の仲間が必要だということも今宮高校から学びました。今から皆さんは、進路、受験などの様々なプレッシャーを背負う場面や未だに経験したことのない場面に出会うと思います。その時は周りを見てみてください。日々の仲間との生活で人客は財産だと改めて気づくことができました、今、仲間がそばにいてくれるありがたさを感じてほしいと思います。

在校生の皆さん、こんな私たちを慕ってくれて、支えてくれてありがとう。皆さんと泣いて笑って過ごした日々は私たちの大切な思い出です。4 月からは皆さんは今宮高校の代表になり、「新入生をリードする学年になります。辛い時も悲しい時もいつでも前を見て笑って下さい。たまに私たちのことも思い出してくれたら嬉しいです。最後に、自分を変え、そして未来を変えながら、有意義な青春を謳歌して下さい。」

なんて素敵なメッセージでしょう。私はとても感動しました。2 年生、1 年生の皆さん。先輩のメッセージを一人一人がしっかりと受け止めて下さい。過去は変えられませんが、過去の反省から学ぶことはたくさんあります。そしてその反省の上に自分と未来を是非変えて下さい。今日で 22 年度は終わりますが、明日から次の年度が始まる気持で学習にクラブ活動に、そして日常生活においてしっかりと自分を見つめて、改めるべきところは改めて下さい。そして 4 月 8 日には今日の自分とは違う心構えを持った自分になって、始業式を迎えてください。これで、今日のお話を終わります。